



## No.60 国のリーダー 暴れん坊将軍たちのゆくえ



特朗普大統領の登場は私のアメリカ人観を大きく変えるものでした。

他人を罵り、駄々っ子のようにわがままを通し、自分を誇示自賛する。アメリカの内政外交はこの4年間、ずっとこの人の再選キャンペーンであり続けました。それは世界に大きな歪みとリスクをもたらしましたが、その人を選んだのは他でもないアメリカ人…どう言おうがアメリカ人がやったことでした。

独裁君主のように我意を通すリーダーは他にもいます。プーチン、エルドアン、ドゥテルテ、ルカシェンコ、キム…キムは世襲ですがほかは一応選挙によって選ばれています。ヒトラーもそう。

一度出来上がった統治機構が強固に機能し続ければ、支持者が多かろうが少なかろうが、国家は暴れん坊リーダーの権力維持機構となってしまうのか、アメリカもそうか…そんな思いで大統領選挙を見ています。

習近平は3000年にわたる中国の洗練された国家統治技術の上に立ち、いまやIT技術を手に入れて、支配権力を完璧にしました。ここでは権力闘争はあっても選挙によるリーダーの交代はありません。

しかしだからといって支配される国民が不幸かというと、治安良く衣食住足りて豊かになれば、君主制だろうが独裁だろうがリーダーを支持します。

良し悪しは別として現実問題、隆盛する国家と衰退する国家の違いが体制ではなくリーダーにあるとすれば、強く優れたリーダーがいるかどうかが国家存亡の鍵となります。

日本もリーダー選びが始まりましたが、民主的価値こそ優れたリーダーを輩出するシステムの礎だと言いたいものです。